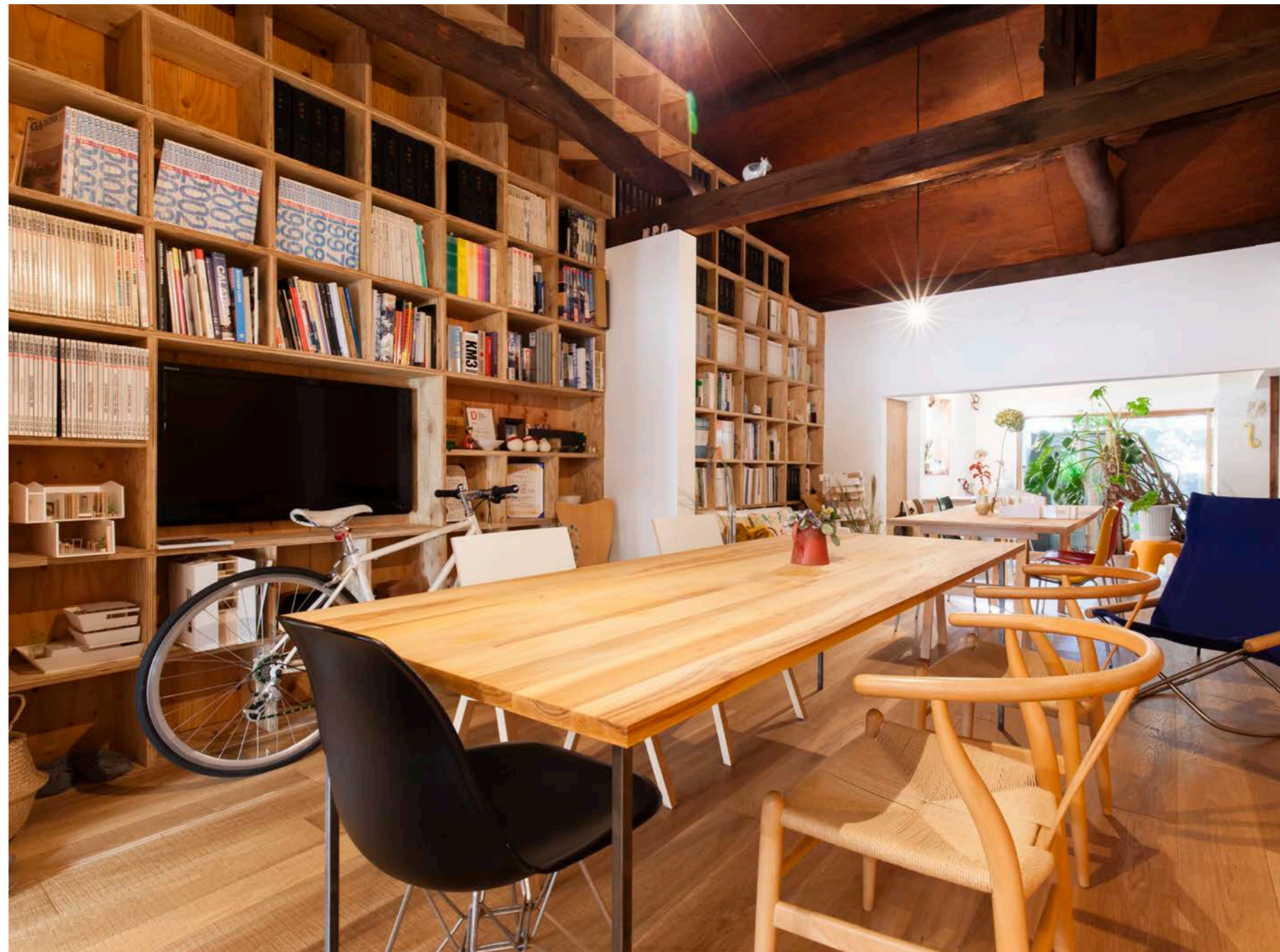


長屋のリノベーション - リノベーションで100年住宅をつくる -



上部の梁や土壁など古いものはすべて現しで残し、下部は現代的に使い勝手を考慮した仕上げ



1室空間として夏は風が通り抜ける空間として、採光も両サイドから取り込んでいる



この長屋が竣工した当時庭であったアトリエ部分は土間仕上げとし、植物を自由に置ける仕上げとした



アトリエの奥に小さな裏庭があり、大きなサザンカとナンテンとスノギが残る



右側の本棚、左側は全面収納になっている



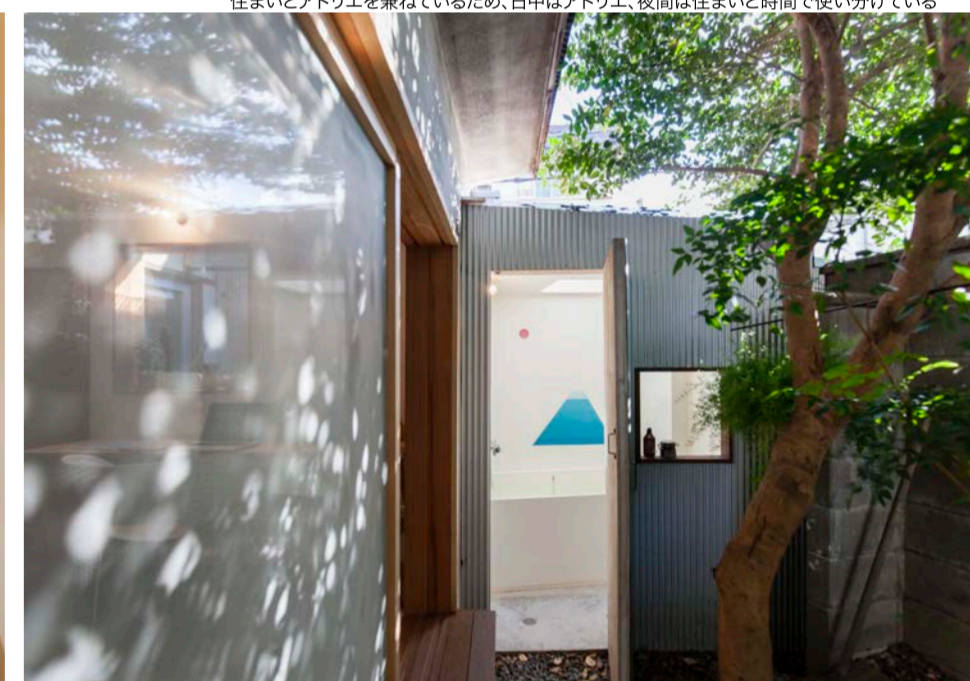
住まいとアトリエを兼ねているため、日中はアトリエ、夜間は住まいと時間を使い分けている



隣家との壁面全面を本棚にしてクライアントの蔵書を収納できるようにしている



前面の路地に面したキッチン



裏庭に面した風呂小屋には富士山の絵を描いている



ファサードは断熱材を充填して板張りとしている 近隣路地コミュニティがまだ残る

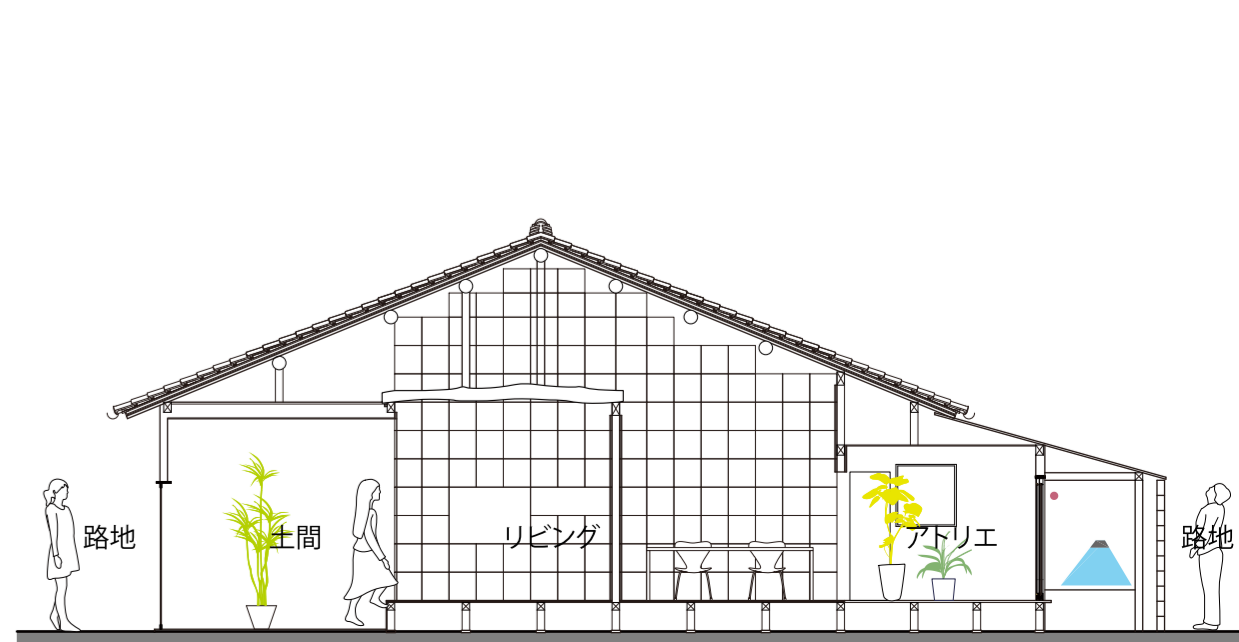
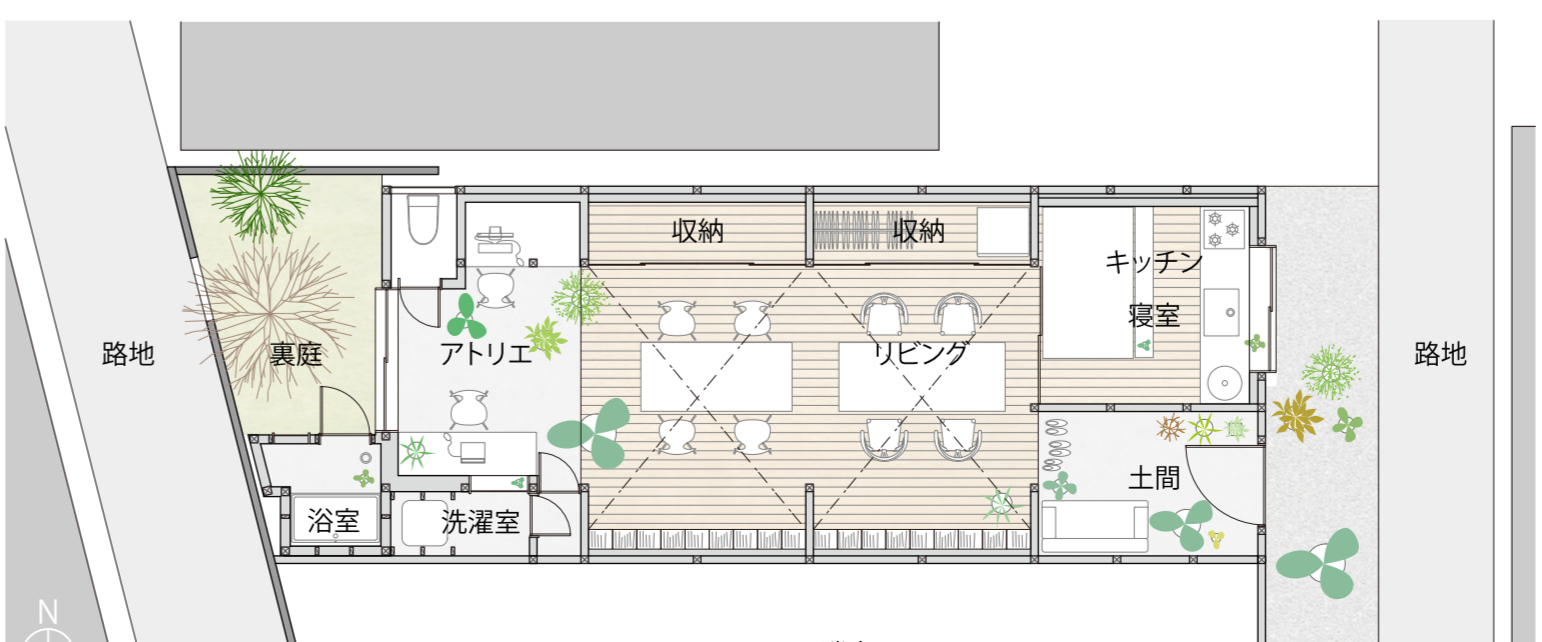
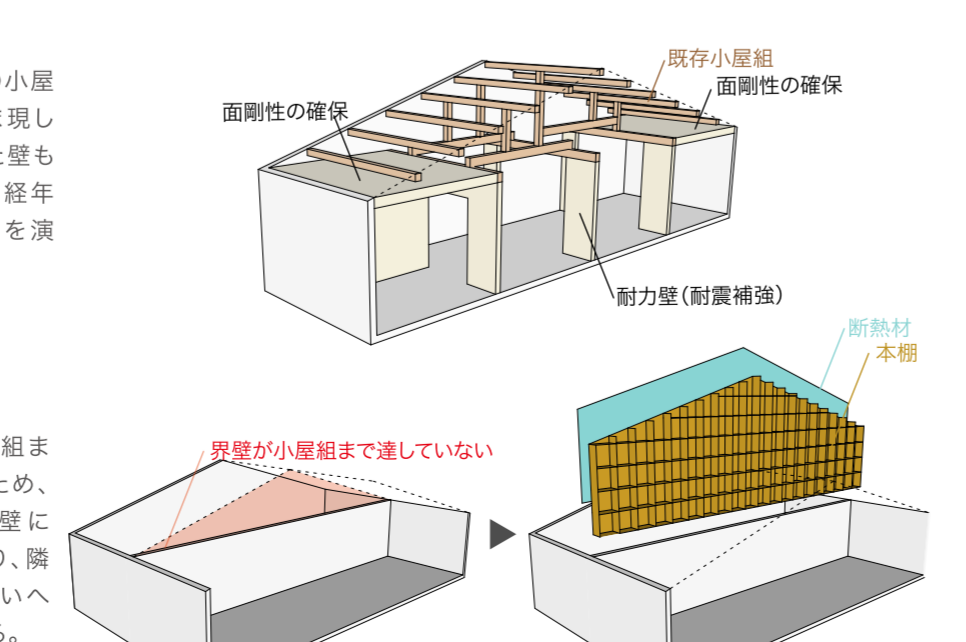


(上段)改修工事前写真 (下段)防音・断熱改修工事写真

コンセプト
 築約80年の長屋の住まいとアトリエへのリノベーション。2軒長屋の天井を取ると、隣家との界壁部分が空洞になっていたため、隣家への音問題の配慮で断熱材を充填した本棚を挿入し、住人の蔵書の本棚としてリノベーション。
 空き家が増える長屋に対して、古いものを残しながら現代的にリノベーションを行うことで100年住める住環境を提案。
 昔の痕跡と現代的なインテリアの新旧の共存によるインテリア空間をつくりました。
クライアントの要望
 ・ローコストによるリノベーション
 ・隣家への音で迷惑をかけない長屋の改修
 ・冬の寒さ対策としての断熱対策

インテリアエレメント
 床 : オーク積層フローリング(サンワカンパニー)
 壁 : 構造用合板(AEP塗装)
 天井 : ラワン合板t=6mm(あまに油塗装)
 本棚 : 構造用合板t=24mm
建築予算
 300万円
建築概要
 所在地: 大阪府大阪市
 構造: 木造
 規模: 平屋(2軒長屋の1軒)
 家族構成: 夫婦
 敷地面積: 84.0㎡
 延床面積: 56.0㎡

新旧の共存
 天井を解体し、既存の小屋組と土壁を、そのまま現しとした。新しくつくった壁も白のペンキで統一し、経年美化した素材の良さを演出している。
大きな本棚
 隣家との界壁が小屋組まで達していなかったため、「大きな本棚」を界壁に沿って天井までつくり、隣のおばあさんの住まいへの遮音性を高めている。



平面図 1:100

断面図 1:100